

## (23) 消 防 局

<b>事務事業名 消防業務推進事業</b>		<b>予算額</b>	<b>8,973</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 167	要求 9,135
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防局の表彰事務、文書事務等を、円滑かつ効率的に執行するための管理運営を行います。 また、新指令センターの開所に伴う落成式及び平成28年度全国消防長会技術委員会第2回常任委員会を開催します。		財政局長	8,973
		市長	8,973
		査定区分	B
		前年度予算額	9,567
<b>査定の考え方</b> 既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		増減	△ 594
<b>事務事業名 消防局運営事業</b>		<b>予算額</b>	<b>125,456</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 167	要求 127,067
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防局及び消防署所の執務環境を維持するための複写機や仮眠用寝具の借上げ、消防活動に必要な防火服を含む消防活動用被服等の調達を行います。		財政局長	125,456
		市長	125,456
		査定区分	B
		前年度予算額	132,327
<b>査定の考え方</b> 既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		増減	△ 6,871
<b>事務事業名 消防署運営事業</b>		<b>予算額</b>	<b>6,584</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 167	要求 6,617
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防署所における、消防事務の執行、適正な執務環境の維持に必要な物品の調達等を行います。		財政局長	6,584
		市長	6,584
		査定区分	B
		前年度予算額	6,639
<b>査定の考え方</b> 既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		増減	△ 55
<b>事務事業名 消防企画管理事業</b>		<b>予算額</b>	<b>3,027</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 167	要求 3,027
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 火災・救急をはじめ、大規模化、多様化する災害に対し、的確かつ迅速に対応するため、消防力の充実強化を図ることを目的に、「さいたま市消防力整備計画」を定め、これに基づき、災害活動拠点施設となる消防署所の整備を進めるものです。 また、消防法に定められている消火、救助、救急活動等に起因する損害賠償保険に対応する事務を行います。		財政局長	3,027
		市長	3,027
		査定区分	A
		前年度予算額	119,892
<b>査定の考え方</b> 所管局の要求どおり計上しました。		増減	△ 116,865

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

<b>事務事業名 職員研修事業（消防職員課）</b>		<b>予算額</b>	<b>51,392</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防職員課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 167	要求 51,392
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 職員が、職務の遂行上必要な知識、技術等を修得し、更に市民ニーズに応えられる職員の育成を図ることを目的として消防職員研修を実施します。 また、安全運転管理体制の推進等についての事業を実施します。		財政局長	51,392
		市長	51,392
		査定区分	A
		前年度予算額	52,230
		増減	△ 838
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
<b>事務事業名 職員管理厚生事業</b>		<b>予算額</b>	<b>13,052</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防職員課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 167	要求 13,052
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 職場における職員の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することにより、市民に安心して暮らせる環境を整備することを目的に、局内の衛生管理、職員の予防接種の推進等について事業を実施します。		財政局長	13,052
		市長	13,052
		査定区分	A
		前年度予算額	11,485
		増減	1,567
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
<b>事務事業名 消防装備運営事業</b>		<b>予算額</b>	<b>349</b>
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 167	要求 349
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 全国消防長会は、消防組織相互の融和協調を図り、情報交換を行うとともに、消防制度及び技術の総合的研究を行い、全国の消防行政の健全なる発展に寄与することを目的として7つの事業推進委員会が設置されており、各委員長は政令指定都市から選任され、本市は「技術委員会」委員長都市を担っています。		財政局長	349
		市長	349
		査定区分	A
		前年度予算額	960
		増減	△ 611
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
<b>事務事業名 災害対策事業</b>		<b>予算額</b>	<b>500</b>
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 167	要求 500
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防の広域援助体制として「緊急消防援助隊」が法制度上明確化され、本市では現在41部隊を緊急消防援助隊として登録しています。 派遣部隊は、ライフラインが寸断された被災地において、72時間以上活動することを可能とするために必要な輸送・補給活動等を行うことを求められているところであり、出動の求めに即応する態勢を整備します。		財政局長	500
		市長	500
		査定区分	A
		前年度予算額	500
		増減	0
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

<b>事務事業名 警防業務推進事業</b>		<b>予算額</b>	<b>39,809</b>
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 167	要求 44,712
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 社会構造の発展による都市構造の変化や市民の生活様式の変化に伴い、年々多様化する消防への市民ニーズを的確に把握し、より高度かつ先進的な消防体制の構築のため、教育訓練を実施し、部隊活動能力の向上を図るとともに、計画的に装備の充実を図ります。		財政局長	39,809
		市長	39,809
		査定区分	B
		前年度予算額	33,251
		増減	6,558
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 救急業務推進事業</b>		<b>予算額</b>	<b>37,571</b>
局/部/課	消防局/警防部/救急課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 167	要求 37,571
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 救急活動に必要な資器材の充実を図るとともに、救急現場において、タブレット型情報端末を有効に活用した医療機関情報の把握など、効果的な救急サービスを提供することで、市民の安全安心を確保します。 また、救急自動車の適正利用など救急需要対策を推進します。		財政局長	37,571
		市長	37,571
		査定区分	A
		前年度予算額	41,773
		増減	△ 4,202
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
<b>事務事業名 救急高度化推進事業</b>		<b>予算額</b>	<b>26,670</b>
局/部/課	消防局/警防部/救急課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 167	要求 26,891
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 市民等の救急要請に際して、高度な救急サービスを提供するため、病院前救護体制の強化を図ります。 また、市民に対する応急手当の正しい知識と技術の普及を推進します。		財政局長	26,670
		市長	26,670
		査定区分	B
		前年度予算額	21,872
		増減	4,798
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 指令業務推進事業</b>		<b>予算額</b>	<b>483,018</b>
局/部/課	消防局/警防部/指令課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 167	要求 483,018
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防業務の基幹である消防緊急情報システム(指令システム・支援システム・画像伝送システム等)と無線設備の維持管理を行い、指令管制業務を確実に実施します。		財政局長	483,018
		市長	483,018
		査定区分	A
		前年度予算額	530,054
		増減	△ 47,036
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

<b>事務事業名 消防システム推進事業</b>		<b>予算額</b>	<b>280,645</b>
局/部/課	消防局/警防部/指令課システム企画室	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 167	要求 288,643
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防業務の根幹を支える消防緊急情報システムは、平成28年度に耐用年数を迎えることから、効率的な消防活動を継続させるため、東日本大震災の教訓を踏まえて最適なシステムを構築します。 また、消防救急無線については、デジタル方式への移行が完了したため、無線設備の維持管理を適切に行い、万全な通信体制を確保します。		財政局長	285,845
		市長	285,845
		査定区分	B
		前年度予算額	166,758
		増減	113,887
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 火災予防推進事業</b>		<b>予算額</b>	<b>34,764</b>
局/部/課	消防局/予防部/予防課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 167	要求 34,764
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 住宅防火対策を始めとした各種火災予防対策の推進及び火災原因究明のための調査技術の向上を図るとともに、市民や事業所の火災予防思想を普及啓発し、火災発生防止や火災による被害の軽減を図ります。 また、積極的に消防広報を推進し、市民や事業所の火災予防に対する理解を深めます。		財政局長	34,764
		市長	34,764
		査定区分	A
		前年度予算額	34,617
		増減	147
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
<b>事務事業名 予防規制等推進事業</b>		<b>予算額</b>	<b>4,549</b>
局/部/課	消防局/予防部/査察指導課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 167	要求 5,218
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防法及び関係法令に基づき、建築確認に伴う消防用設備等設置に係る消防同意事務、危険物施設及びガス・火薬類の許可等の審査事務並びに防火対象物等への立入検査及び違反処理を行い火災予防の徹底を図ります。		財政局長	4,549
		市長	4,549
		査定区分	B
		前年度予算額	3,911
		増減	638
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 消防団運営事業</b>		<b>予算額</b>	<b>235,380</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/2目 非常備消防費	予算書P. 169	要求 243,455
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 地域防災の中核的存在である、消防団の運営を適切に推進していくために報酬等の支給や活動環境の維持、団員確保対策等の各種事業を行います。 また、自警消防団の運営を支援するため助成金を交付します。		財政局長	235,380
		市長	235,380
		査定区分	B
		前年度予算額	234,256
		増減	1,124
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

<b>事務事業名 消防施設等維持管理事業</b>		<b>予算額</b>	<b>854,166</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	予算書P. 169	要求 1,153,697
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防庁舎及び消防団施設等を対象に、建築物の維持管理に関する法令等を遵守し、安全で衛生的な環境を確保するため、適正な保守点検、修繕、改修等を行うことにより、突発的な事故を抑制し、職場環境の安全性向上を図ります。		財政局長	854,166
		市長	854,166
		査定区分	C
		前年度予算額	571,982
<b>査定の考え方</b> 既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		増減	282,184
<b>事務事業名 消防施設等整備事業</b>		<b>予算額</b>	<b>392,429</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	予算書P. 169	要求 436,135
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防体制の充実強化及び消防署所を計画的に整備するため、(仮称)見沼区片柳地区消防署の設計等を行います。 また、消防団の充実強化に係る事業を推進するため、消防分団車庫の建設工事及び設計業務等を行います。		財政局長	392,429
		市長	392,429
		査定区分	B
		前年度予算額	1,648,148
<b>査定の考え方</b> 既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		増減	△ 1,255,719
<b>事務事業名 消防水利整備事業</b>		<b>予算額</b>	<b>148,815</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	予算書P. 169	要求 148,815
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防水利の基準(消防庁告示第7号)に基づき耐震性防火水そう及び消火栓の設置を行うとともに、常時使用できるように維持管理を行います。		財政局長	148,815
		市長	148,815
		査定区分	A
		前年度予算額	154,114
<b>査定の考え方</b> 所管局の要求どおり計上しました。		増減	△ 5,299
<b>事務事業名 消防装備等維持管理事業</b>		<b>予算額</b>	<b>183,452</b>
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	予算書P. 169	要求 183,452
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防車両及び消防用資機材について、複雑多様化する各種災害に備え迅速確実に対応できるように、常に良好な状態を保つため維持管理を行います。		財政局長	183,452
		市長	183,452
		査定区分	A
		前年度予算額	178,530
<b>査定の考え方</b> 所管局の要求どおり計上しました。		増減	4,922

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防装備等整備事業		予算額	568,736
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	予算書P. 169	要求 632,950
<事業の目的・内容> 市民生活の安心・安全を確保するため、老朽化した消防車両を計画的に更新し、消防力の充実を図ります。 また、震災時に消防団が行う活動を強化させるため、震災対策用資機材の増強を図ります。		財政局長	568,736
		市長	568,736
		査定区分	B
		前年度予算額	462,248
		増減	106,488
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。